

舞踊集団菊の会公演

華麗な舞踊に拍手喝采

10月13日、舞踊集団菊の会による公演「日本のおどり」がありました。

この公演は平成25年10月以来2度目の公演で、会場となった町文化ホールには、生後4カ月から100歳までの幅広い年齢層の約500人が来場しました。

国内のみならず、海外でも高い評価を得ている菊の会。前回に引き続き、公演を観に訪れた観客も半数近くいました。

公演は、あでやかな着物姿で舞う「寿菊三番叟」で幕を開けると、コミカルな表現で笑いを誘う狂言舞踊「釣女」や民族舞踊詩「ふるさと囃子」などの多様な舞踊で観客らを魅了しました。

公演が終わると、ロビーで待ち受ける演者らに「想像以上におもしろかった。また観に行きたい」と観客が握手を求め、日本を代表する演舞に満足した様子でした。



↑華やかな踊りで観客を魅了

第4回北薩地区身体障がい者ふれあい福祉大会

障がい者の文化・協調・自立・健康向上を目指す

第4回北薩地区身体障がい者ふれあい福祉大会が10月20日に阿久根市市民会館で開催され、北薩地区の各市町から身体障がい者協会の会員をはじめ多くの人々が来場しました。

午前の部で開催された表彰式では、宮ノ原憲治さん（山門野上）が自立更生者の部で表彰を受け、受賞者を代表してあいさつを行いました。

午後の部では文化行事の披露が行われ、近隣の障がい者福祉施設の入所者による演奏や、阿久根警察署「うずしお劇団」によるうそ電話詐欺防止啓発の寸劇などが披露されました。



↑施設入所者による演奏を披露

東生活研究グループが桃源郷を訪問

手づくりみそをプレゼント

10月17日、特別養護老人ホーム桃源郷を東生活研究グループ（福寄タズエ会長）が訪問。手作り味噌や花束の贈呈が行われました。

同グループによるこの活動は、20年以上続いています。福寄会長は「私たち手作りの味噌をたべて、これからも元気に長生きしてください」と感謝を込めて手渡しました。

大川一成園長は「毎年のことでありがたい。味噌汁やあえ物に大切にに使わせてもらいます」と笑顔を見せました。



↑入所者へ手渡す福寄会長

第11回自治公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会

田尻Aチームが優勝

10月9日、第11回自治公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会が川床コミュニティ運動場で開催され、町内の36自治公民館から86チームが参加しました。

雨の中での開催となりましたが、選手たちははつらつとしたプレーを繰り広げ、会場では多くの好プレーに歓声が沸きました。大会結果は次のとおりです。

団体の部 [優勝] 田尻A
[準優勝] 川床上A [3位] 本浦A
個人の部 [優勝] 浦健（田尻A）
[準優勝] 増田重尚（蔵之元C）
[3位] 前畑泰雄（山門野上A）



↑優勝した田尻Aチーム

長島町建友会が義援金

熊本復興の一助に

10月3日、長島町建友会（木場盛二会長）が、役場を訪れ、同会が熊本の被災地復興のために集めた義援金を川添町長へ手渡しました。

木場会長は「隣県の熊本県が被災に遭い、建友会として何か手助けができないか考え、建友会に所属する39社から寄付を募った。熊本の復旧復興に役立ててほしい」と話しました。

受け取った義援金は、本町を通じて熊本県町村会（荒木泰臣嘉島町長）へ送金されました。

「きっずぽんぽこ」落成式

長島初の療育施設が完成

発達障害のある子どもたちを支援する療育施設「きっずぽんぽこ」が本町平尾に完成し、10月11日、同施設で落成式が行われ、関係者ら約40人が参加して、落成を祝いました。

この施設は、NPO法人長島福祉作業所ぽんぽこ村（大堂和枝理事長）が整備したもので、未就学児を対象とした児童発達支援事業、就学児を対象とした放課後等デイサービス事業、日中一時支援事業の3サービスを提供します。

大堂理事長は「これまで町内に療育施設がなかったことから、支援の必要な子どもと保護者は町外へ通わなければならなかった。今回、この施設を整備したことで、子どもたちに安心して笑顔で走り回れるような環境を作り、少しでも保護者らの手助けをしていきたい」とあいさつしました。



↑完成を祝う大堂理事長（写真左）とスタッフら



↑川添町長へ義援金を渡す木場会長